協同の力で築く
「多彩な農業」と「元気な地域」

JA多気郡では、【協同の力で築く「多彩な農業」と「元気な地域」】を大きなテーマとして位置付け、
中期経営計画に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の
3つを掲げ、自己改革に取り組んでいます。

農業所得の
増大

農業生産の
拡大

地域の
活性化

JA多気郡

〒515-0321
三重県多気郡明和町大字斎宮1831番地21

JA多気郡は

自己改革に取り組んでいます

（令和元年度 実績報告）

JA多気郡

ＪＡの主人公は 組合員のみなさん

食と農を基軸として地域に根ざした協同組合（ＪＡ）は、同じ目的や志を持った人々が集まり、組合員となることで成り立っている組織です。正組合員は、農畜産物の生産や販売、生産資材の購買などに協同の力で取り組むことで、豊かな農業を育むことができます。そして、消費者に安全で安心な農畜産物を届け、わが国の食と農を守っています。地域の農業を豊かにすることは、地域の元気にもつながります。農業を通じて地域を豊かにする主人公、それがＪＡの正組合員です。

営農指導事業

営農に関する技術指導や相談等、組合員の営農支援のための活動を行っています。

農業経営事業

子会社:㈱多気郡アグリサポート

担い手が不足する地域の農地を中心に農業経営、農地維持を行っています。

販売事業

市場に有利販売ができるよう、農産物をまとまった数量で売る「協同販売」を行っています。

購買事業

農業や生活に必要な安全で品質のいい資材を大量購入等で安価に仕入れ、安定的に供給しています。

利用事業

個人では所有できない大規模な乾燥設備や搾油施設を利用できるように設備運営しています。

生活指導事業

組合員のライフスタイルに合わせたくらしの活動を提案し、地域の活性化に取り組んでいます。

信用事業

地域の金融機関として、貯金・融資・為替業務などの金融サービスを提供しています。

共済事業

助け合いの理念に基づき「ひと・いえ・くるまの総合保障」を提供しています。

総合事業の意義　ＪＡは、上記のように、多様な事業を総合的に展開することで、地域農業の振興や地域づくりに努めています。農業関連事業は、信用事業や共済事業などを含めた総合事業だからこそ、営農指導員の配置や大規模な農業施設投資を実現できています。

准組合員は地域の農業を豊かに

農業に直接的には関わることがあまりない人々でも、JAの事業を利用することで「准組合員」となることができます。より暮らしやすくなる事業ばかりです。また、地域の農業を豊かにするためには、生産者だけでなく、農畜産物を食べる消費者の理解も必要だと思います。准組合員は、単にＪＡの事業を利用するだけの人々ではありません。正組合員と共に食を通じて農業を育み、豊かな地域社会を築くＪＡの大切な仲間なのです。ＪＡの主人公として、正組合員と准組合員が共に手を取り合い、食と農を通じて地域を豊かにしていきましょう。

ＪＡには、信用や共済、ガソリンスタンド、高齢者福祉などさまざまな事業があります。これらは利用すれば、地域で

ＪＡ多気郡は、総合事業で組合員・地域の皆様に必要とされるＪＡであり続けるために、組合員・地域の皆様とともに一歩先を目指し、「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標として自己改革に取り組んでいます。

ＪＡ多気郡 の自己改革

「農業生産の拡大」「農業所得の増大」への挑戦

部門連携で農業金融支援

農業融資担当者による、農業者への訪問を通じ、資金ニーズを把握することと共に顧客満足度向上に取り組みました。また、営農経済部門の担当者（TAC）や渉外担当者と連携し、農業者ニーズに合った資金を迅速に提供できるように取り組んでいます。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
農業資金実行件数	75	92	91
農業資金実行金額	42,491万円	52,854万円	53,990万円

総合事業の強みを活かした連携、農家のニーズにあった資金やサービスを迅速に提供

● 就農のための用地や設備、栽培への各種相談を資金面も含めて応談　● 就農後のアフターフォローも万全の体制

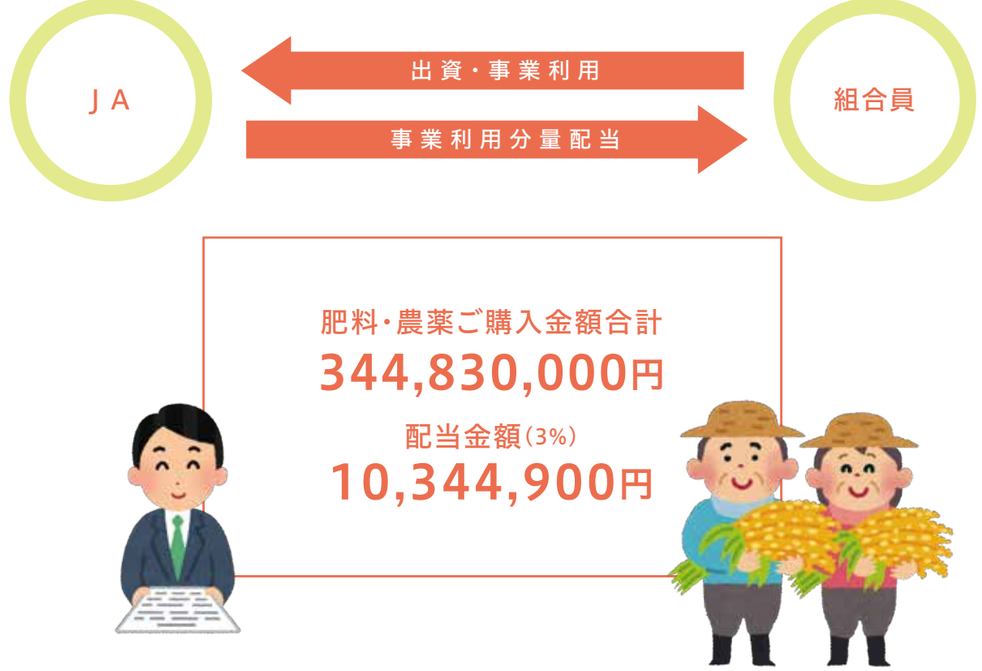
NEW! 事業利用分量配当の新設

農業者の所得向上を目的に、肥料・農薬のご購入金額に応じた組合員への還元として、事業利用分量配当を実施しました。

※事業利用分量配当とは
　組合員の事業利用分量に応じて、剰余金を組合員に還元（配当）する方法です。

実施年月	配当金額	基　準
令和元年7月	10,344,900円	肥料・農薬　購入金額に対して3％

事業利用分量配当



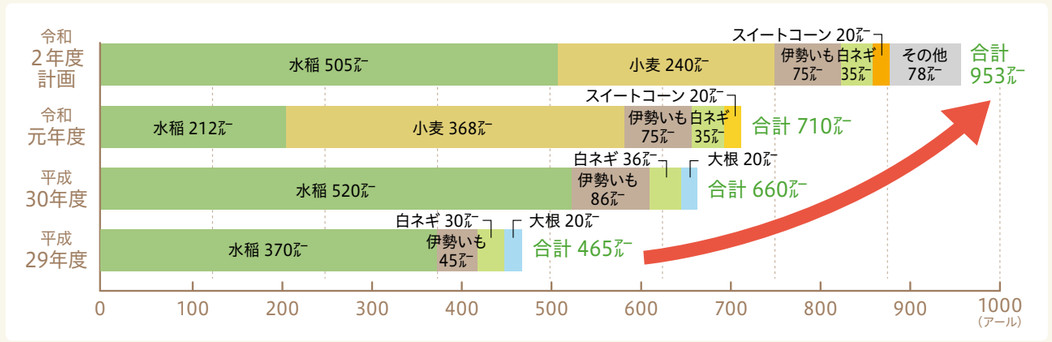
ＪＡ多気郡 の自己改革

JGAP（日本版農業生産工程管理）制度の普及推進

持続可能な農業を実現するために、生産者のＪＧＡＰ（日本版農業生産工程管理）認証取得支援に取り組んでいます。令和元年度、明和町の農産物生産会社「iBroom」代表の濱口仁志さんは、個人経営では県内初となるキュウリのＪＧＡＰを取得されました。農業改良普及センターなどの支援のほか、当JA営農指導員も書類作成支援等や現地での検討会などに参加、認証取得フォローアップに取り組みました。

JA出資型法人の取り組み

地域農業を支える多様な担い手や新規就農者の育成等を進めるために、設立した「株式会社多気郡アグリサポート」は令和元年度で３期目を終了し、確実な成果達成に努めてきました。行政や農業大学校と連携しながら新規就農者の育成や新たな産地形成などの地域農業をリードする取り組みを行っています。作付面積確保に取り組むとともに、農作業受託体制による作業支援を行い、地域農業振興・優良農地の保全に努めています。また、多気町特産である「伊勢いも」でＪＧＡＰ認証を取得し、食の安全や環境保全に取り組む農場として評価されました。



農地受託明細

	受託者人数	圃場数	面積
平成29年度	14人	50	54,759㎡
平成30年度	19人	67	71,413㎡
令和元年度	22人	71	74,869㎡
令和２年度計画	25人	92	95,333㎡

就農支援

就農支援として農業資金の支援を行い、
意欲のある農業者のサポートを行いました。

成果指標	28年度	29年度	30年度	令和元年度
新規就農支援	1件 青年等就農支援 10㌃	1件 青年等就農支援 10㌃	3件 青年等就農支援 36㌃	2件 青年等就農支援 26㌃

三重県認定研修機関の㈱アグリサポート（JA多気郡出資）で研修を受ける三重県農業大学校生（同校より委託）

加工用野菜の生産振興

加工・業務用野菜に対する需要が拡大する中、実需者ニーズに見合った作付品目として「白菜」「カボチャ」「キャベツ」の生産を推進し、農家経営の安定と所得向上に取り組みました。

成果指標		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
加工用野菜（白菜・カボチャ・キャベツ）	生産面積	1,654アール	1,797アール	1,780アール	1,546アール
	出荷量	731.8トン	522.8トン	849.0トン	848.5トン
	販売高	3,307万円	2,278万円	3,605万円	3,628万円
	出荷者数	56人	52人	50人	37人

共同購入トラクター

農家の生産コスト削減への取り組みとして、生産現場の声を反映した大型トラクターの共同購入に取り組んでいます。生産者の需要をとりまとめ、一括発注を行うことで、生産者への価格メリットを生み出します。

ＪＡ多気郡 の自己改革

農産物直売所スマイルの販売拡大

管内の特徴である少量多品目産地における生産者の所得増加に向けて、平成30年4月に「直売課」を新設し、拠点である農産物直売所スマイルの強化に努めたほか、旬の農産物や加工品、惣菜など品揃えの充実、生産者と消費者を繋ぐ集客イベントなどを開催し、販売拡大に取り組んでいます。また、出荷者への生産履歴記帳や農薬の適正使用指導のほか、新規栽培農家と販売アイテムの増加を図り、端境期に向けたハウス栽培・品目提案を行っています。
また、ホームページをリニューアルし、旬の商品をお取り寄せできるスマイルネットショップを充実しました。組合員・地域住民の皆様にタイムリーな情報を提供していきます。

年間売り上げ金額「50万円以上」の出荷者数の推移

26年	27年	28年	29年	30年	R1年
147人	156人	166人	174人	196人	171人

スマイル売上高

27年	28年	29年	30年	R1年
4億5981万円	4億6632万円	4億9570万円	4億6150万円	4億7182万円

スマイル来店客数

27年	28年	29年	30年	R1年
353,058人	350,361人	356,260人	333,479人	313,456人

自然の味処すまいる

隣接するＪＡ直売所「スマイル多気」と連携して旬の地元食材を調達した四季折々のメニューの提供、広報誌やホームページへ旬の食材を使用したオリジナルレシピを公開し、地場産農産物のＰＲを図りました。

NEW! 農産物直売所の出荷者支援

生産者のご自宅や作業場から農産物を集荷し、店頭に並べる出荷者支援を行っています。
今後も継続的に安心して出荷していただける環境づくりを行うことで、消費者にとっても品揃えの豊富な満足度の高い売り場を提供することに繋げていきます。

農業所得の増大

家に居ながら楽々出荷
農産物直売所スマイルが出荷者を支援！

◀スマイルの棚に商品を並べます

農産物直売所「スマイル」では、高齢会員等を対象に、商品を出荷し店頭に並べる出荷者支援を行っています。直売所が高齢会員等の活躍の場となるよう出荷を支援し、農業所得の増大に寄与することを目的としています。

集荷実施地区は、スマイル店舗のある明和地区と多気地区で週３回の集荷日に、営農センター職員が自宅や作業場などから商品を受け取り、値札シールを貼り商品棚に並べます。

これからも高齢生産者などを支える売場づくりを行い、出荷者や店頭に並ぶ品目を少しでも増やし、消費者や生産者に優しい店舗づくりを心がけていきます。

利用者の声

直売所まで運搬が遠く荷物も重い。作業場へ集荷に来てくれるのでとても助かっています。

ＪＡ多気郡 の自己改革

奥伊勢えごま倶楽部による活動推進

えごまの生産振興、農業所得の増大と安定を目指し、平成28年度に発足した「奥伊勢えごま倶楽部」は、着実に実績を積み重ねてきました。29年度にはえごま油搾油所を新設、30年度には「えごま葉茶緑茶ブレンド」と「えごま葉茶ほうじ茶ブレンド」を発売し、令和元年には有機栽培の大台茶を使用するなど、より安全安心にこだわった販売に取り組んできました。

えごま油には、体内では合成できないαリノレン酸が豊富に含まれています。くせのないサラッとした口当たりです。

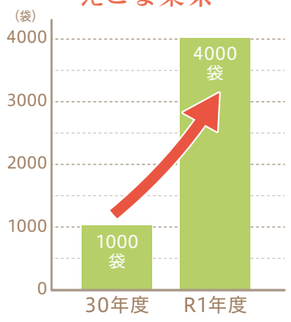
えごま作付面積

平成28年	平成29年
120アール	200アール
平成30年	令和元年
250アール	250アール

えごま油本数

平成28年	平成29年
1000本	2000本
平成30年	令和元年
1200本	1350本

えごま葉茶



「地域の活性化」への貢献

ふれあい活動・地域貢献活動

ＪＡ多気郡が事業運営を展開する3町（明和町・多気町・大台町）の各支店および営農センターを組合員・利用者の皆さまの最も身近な拠点と位置づけ、役職員が一丸となって行事等に積極的に参加し、地域の活性化に努めています。

地域のイベントへの参加

交通安全運動（全拠点）

夏野菜を栽培して窓口でプレゼント

児童とハーバリウム作り

地域美化運動

3社協（管内3町）への新米寄贈

ＪＡ多気郡 の自己改革

女性組織の育成・活性化

「食」や「農」、「くらし」に関心がある女性の参加を促進し、女性部の会員拡大に取り組み、全体活動と各支部の独自活動の展開により、女性部の活性化に努めました。また、地産地消の理解を深めるために、学校給食野菜栽培グループ「すこやかクラブ」「ベジタブル会」が、安全安心な野菜を管内の学校給食へ提供しています。

100歳プロジェクト

学校給食用のとうもろこし出荷準備

「食」と「農」を基軸とした協同組合活動の展開

地域の未来を担うこどもたちに対し、食を支える農業の役割、農業と生活・社会との関わり、地域の食文化、いのちと健康の尊さなどについて理解を深めてもらうための「食農教育」を関係機関や女性部員、地元の農家の皆さんの協力を得ながら実施しています。また、親子料理教室など世代やニーズに応じた食農教育を実施し、「食」と「農」に対する関心を高め、地域農業への理解促進に取り組みました。

小学生の大豆の種まき

ミニトマト栽培

野上がり饅頭（いばら饅頭）作り

小学生と栽培・収穫した大豆で味噌つくり

組合員・地域住民が健康で生き生きと安心して暮らせる地域づくりの実現

助け合い組織「にじの会」は、協力会員による高齢者の集い「ミニデーサービス」や「ふらっとほーむ」を開所し、介護予防活動を行っています。また、組合員をはじめ誰もが気軽に参加できる介護予防教室「レインボー体操教室」を開催し、心身の健康と地域の活性化に取り組んでいます。

レインボー体操

年金友の会

会員相互の健康と親睦を図り、心豊かな暮らしを築くことを目的に、年金友の会活動に取り組んでいます。年間活動では、親睦大会、グラウンドゴルフ大会、ゴルフ大会を中心に、毎年、多数の会員の皆様に参加いただいています。

グラウンドゴルフ

地域の暮らし支援　お買い物バスツアー運行

令和元年10月から、地域の暮らし支援と直売所出荷者の所得増大に繋げていくことを目的として、お買い物バスツアーを運行しています。（現在の対象は、年金友の会会員の皆様です。）「農産物直売所スマイル」での買い物や、「自然の味処すまいる」にて食事を楽しんでもらうこと、消費者である年金友の会会員と生産者である直売所出荷者の架け橋となることを通じ、地域の活性化と農業所得の増大に貢献しています。

NEW!

お買い物バスツアー

ＪＡ多気郡 の自己改革

NEW! 500円で精米代行（精米代含）

「自ら外出しなくて良い」「重いお米を運ばなくて良い」「500円とお値打ちで良い」と3つの良いで地域貢献をスローガンに開始した「精米代行サービス」は、精米機が自宅付近にない方や、玄米の運搬が難しい方を支援するための新しい取り組みです。組合員や利用者の自宅で保管している玄米をＪＡ職員が引き取りに伺い、精米して届けています。

地域の活性化

「重くない・安い・外出不要」 ワンコインで精米代行！

▲精米の状態を確かめます

精米したお米を届けます

各営農センターでは、自宅で保管している玄米を組合員や利用者に代わって精米する「精米代行」を行っています。高齢者や精米機が近くにない方、重い物が持てない方など支援することを目的に始めました。また、新型コロナウイルスの感染拡大で、外出を控える方にも大変好評です。

玄米集荷日に、受付窓口である営農センター職員がお客様の自宅へ玄米を引き取りに伺い、ＪＡの精米機で精米し、届けています。お預かりする玄米は30kgのみで、代金は運搬費用込みで500円です。この「重くない・安い・外出不要」という3つの利点が好評で、利用者は徐々に増加しています。

利用者の声

広報誌で知り、月に1回利用しています。コロナウイルス感染防止で外出しなくて良いのが、とても助かっています。

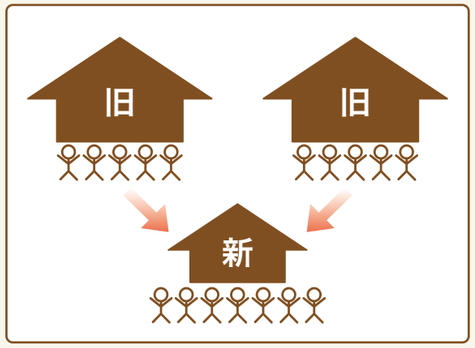
支店・事業所再編などによる事業再構築の実施

ＪＡ多気郡として「農業・地域への貢献」「組合員・利用者へのサービス品質の確保・向上」を継続していくためには、「総合事業経営」を堅持していくことが必要です。そのためにもＪＡ多気郡の将来を見据えて「支店・事業所再編などによる事業再構築の実施」に取り組んでいます。令和元年度は、組合員・地域住民のニーズに応え、地域に根ざした事業に取り組むため、「大台東部支店」と「大台支店」が統合され、新たな「大台支店」として統合移設オープンしました。また、ＪＡ葬祭「虹のホール領内」を稼働させ事業力強化を図りました。さらなるサービス品質の確保、利便性の向上を目指し、「大淀支店」「上御糸支店」「下御糸支店」を「明和北支店」に統合し、「斎宮支店」「明星支店」を「明和南支店」へ統合する移設計画を進めています。

大台支店

虹のホール 領内

明和北支店 令和２年５月オープン



■ 支店統廃合による出向く窓口の強化

なお、支店統廃合に際して組合員への相談体制、訪問活動、次世代層のＪＡ利用促進を強化するために令和元年4月に渉外担当者の取り纏め部署として「ふれあい課」を創設し、「出向く窓口」として、組合員・利用者の利便性、満足度の向上に努めました。

NEW! 出向く窓口 → ふれあい課